
「心不全増悪からの回復過程における呼吸安定性評価の有用性を検討する多施設共同臨床研究」に参加された患者さん、およびご家族の方へ

本研究はすでに得られているデータの二次解析であり、新たに患者さんからデータを取得する予定はありません。

【研究タイトル】

「心不全増悪からの回復過程における呼吸安定性評価の有用性を検討する多施設共同臨床研究」の二次解析

【研究背景・目的】

背景 : 「心不全増悪からの回復過程における呼吸安定性評価の有用性を検討する多施設共同臨床研究」(以下 PROST スタディ)は 2015 年 10 月から 2016 年 5 月までに全国 8 施設で行われた多施設共同研究です。心不全患者さんを対象とし、治療前後で日中・夜間の呼吸安定性を調べています。44 人が参加いただき、参加の際には担当医より説明を受け同意書に署名をいただいています(その後、同意を撤回された方はデータから外させていただきます)。福岡県済生会二日市病院循環器内科では以前より夜間の睡眠時無呼吸検査データから心拍出量*を推測する研究を行っています。今回、PROST スタディにて参加された方の夜間睡眠時無呼吸検査のデータを用いて、心拍出量を推測する研究を予定しています。

* 心拍出量: 心臓が 1 分間に拍出する血液量のことで

目的 : 今までの研究で夜間睡眠時無呼吸検査データから良好に心拍出量が推測されることを示されています。PROST スタディのデータを二次解析し、心不全治療前後でどのように心拍出量が変わり、どのような要素(レントゲンでのうっ血や酸素飽和度など)と関連するかを明らかにすることを予定しています。

【研究対象】

対象者: PROST スタディに参加いただいた方

【研究方法】

すでにある PROST スタディで得られたデータ(睡眠時無呼吸検査でのデータ)をもう一度解析を行い、心拍出量を推測します。治療前後での心拍出量を推測し、治療前後での他のデータ(血圧、レントゲンでのうっ血、体重変化、血液データ等)と相関を調べます。新たに患者さんからデータを取得することはありません。

【研究対象となる患者さんへの利益・不利益】

利益は個人としては特にありませんが、今後の医学の進歩に貢献できます。不利益はありません。

【利益相反について】

特にありません。

【患者さんの個人情報の管理について】

本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

【研究期間】

この研究期間は、2017年4月1日～2018年3月31日です。

【本院における研究体制および連絡窓口】

研究責任者名	所属	職名
門上 俊明	済生会二日市病院	副院長
研究分担者名		
中村 亮	同上	循環器内科部長
今野 里美	同上	循環器内科医長
戸伏 倫之	同上	循環器内科医長
瀬筒 康弘	同上	循環器内科医長
西崎 晶子	同上	循環器内科医員
畑島 皓	同上	循環器内科医員
豊原 貴之	同上	循環器内科医員
安藤 眞一	九州大学病院	睡眠時無呼吸センター長 特任教授

連絡窓口

済生会二日市病院 循環器内科

戸伏 倫之(とぶし ともゆき)

住所: 〒818-0058 福岡県筑紫野市湯町 3-13-1 電話番号:092-923-1551(代表)